

教育臨床心理学 No. 1

プリント空欄 (5. 自己知覚理論 {P. 8} ~3. ネグレクトがもたらすもの {P. 46}) by S. W. R.

P. 8 推測 推測 自己

P. 9 言葉

P. 10 拒食 過食 青年 ダイエット 10代 20 自己評価 自分
女性 成人女性 完全 過活動

P. 11 やせ 肥満 嘔吐 下剤 浣腸 食欲不振 拒食症
標準体重 やせたい やせ 太る 肥満 ボディ・イメージ
過活動 制限 無茶食い/排出 10代 女子 男子 病識
死亡率 低栄養 事故 自殺 過食 過食症 無茶食い
嘔吐 下剤 排出 だめな 衝動 罪悪 食欲不振 やせ
肥満 ダイエット

P. 12 やせ 肥満 ボディ・イメージ 活動性 女性 幼児

P. 12 の一番下に以下の赤色の文を追加

・・・食べ物のこと、食べることに對して、異常に関心が強くなり、
心理状態が不安定になる。

P. 13 美しい 抵抗 第二性徴 男子 女子 女性 10代

ダイエット ダイエット 社会的に有能 資本 競争 社会

P. 13 (つづき) 第二次性徴 身体 出なくてもよい

P. 14 →社会に出てうまくやっていく自信がない

ダイエット リバウンド 維持するのは困難なことである

低体重 自己評価 自尊心 体型 数値 低体重 自己評価

P. 15 富裕 富裕 量 下層 ジャガイモ ジャガイモ 量 質

テーブルマナー 下層 富裕

P. 16 資本 スリム スリム 美食 肥満 有能 有能 自己評価

葛藤 手足 声 目 記憶

P. 18 修行 ブーム 我慢 我慢 自己コントロール 衝動 やせ

肥満 嘔吐 排出 聖 俗

P. 19 欲求不満 . . . 心理的に不安定な緊張状態となる。

あくまでも欲求を満足しようと努力する。

防衛機制 . . . せず、心理的に不安定な状態を解消しよう

とする。

P. 20 ①不安定な心理状態を解消し、安定した心理状態を回復する

ことができる。

② . . . あるいは、精神的に進歩が見られないということに

もなる。

P. 22 解離 解離 解離性健忘 解離

P. 23 心的外傷 心的外傷後ストレス障害 解離 解離

解離性同一性障害 解離性健忘 解離性遁走 離人症性障害

P. 24 (1)器質的な異常は全くない。

(2)症状は突然始まる。

(3)ヒステリーになりやすいヒステリー性格がある。

(4)何らかの疾病利得がある。

転換 解離

P. 26 強迫観念 強迫行為 強迫観念 侵入 強迫観念 不安

強迫行為 不安

P. 27 局所 無意識 心的決定 意識 前意識 無意識

・・・ために、無意識の世界に抑圧する。

・・・なると、)不安定になるので、再び抑圧する。

・・・ように、形を変えてあらわれる。

構造 イド 自我 超自我

→わがまま、自分勝手

→融通が利かない

→情に欠ける、合理的すぎる

P. 28 発達 生物 子孫を残すもの リビドー リビドー

精神的エネルギー 身体

ー母乳を吸うことで生き延びる

ー社会の中で適応できるように自分をコントロールする

ー大人になって子孫を残すための準備

ーリビドーは一時的に潜伏する

ー子孫を残す

リビドー リビドー リビドー 固着 固着 退行 退行

P. 31 ポルトマン 就巢 離巢

P. 32 就巢 離巢 生理的早産 子宮外胎児 生理的早産

ローレンツ 離巢 生存可能性 種の保存 初期

P. 33 自力移動 ボウルビィ 精神分析 発達

→手をふったりして、合図を送る。

自力移動 コミュニケーション 養育行動 生存可能性

自力移動 表情 動作 大人 大人

P. 34 注視 微笑 泣く 喃語 愛着行動 心理的つながり

愛着行動 応答 アタッチメント 性格 情緒

アタッチメント

P. 36 ①どうせだめだとあきらめて、手を振らなくなる（意欲低下）

②疑い深くなる。（見て見ぬフリ？）

信号 接近 信号 接近 アタッチメント

ストレンジ・シチュエーション

・・・の間に乳児が発信した信号行動に対する母親からの応答に違いがあった。

母親とはこのようなものである 接近 内的ワーキングモデル

P. 37 内的ワーキングモデル 世の中とはこのようなものである

内的ワーキングモデル 自分とはこのようなものである

他者 愛着行動 応答 愛着行動 応答

・・・モデルは「自分が困っている時にはいつも誰かが助けてくれる」といったものになる。

したがって新しい場面にチャレンジする積極的な性格の基礎となりやすい。

愛着行動 応答

P. 38 ・・・モデルは「自分が困っていても、必ずしも誰かが助けてくれるとは限らない」といったものになる。

P. 38 (つづき) したがって失敗しそうな場合、新しい場面にはチャレンジしない消極的な性格の基礎となりやすい。

自己 信頼感

以下のように赤字の文を挿入

・・・という自分に関する内的ワーキングモデルが形成される。

したがって自分に自信のある性格の形成の基礎となる。

内的ワーキングモデル

したがって自分に自信の持てない、自己評価が低い性格の形成の基礎となる。

P. 39 ストレッサー 闘う 逃げる ストレス 適応 闘う 逃げる

脳下垂体前葉 内分泌 (HPA) 交感神経系

P. 40 視床下部 脳下垂体前葉 副腎 HPA コルチゾール

ストレス 適応 呼吸 酸素 血圧 酸素 赤血球

糖質 (グルコース) 血管 出血 意識 適応 闘う 逃げる

消化 白血球 HPA 交感 中枢 末梢 体性 自律 随意

P. 41 交感 副交感 交感 活性 副交感 沈静 交感 副交感

副交感 HPA 交感 交感神経 HPA系 適応 闘う 逃げる

グルコースが (「や」は消去) 動脈硬化

以下の文に赤色の文を挿入

・・・が続くと心筋梗塞、糖尿病の引き金に・・・

P. 42 高く 高血圧 心筋梗塞 覚醒水準 不眠

・・・鈍くなるが、食事はきちんととるので、消化不良や消化性潰瘍になりやすくなる。

・・・抑制され、免疫機能が低下するので、病気になりやすい、病気が治りにくい。

免疫 免疫 HPA 抑圧 完全 過剰適応

P. 43 身体的虐待 ネグレクト 性的虐待 心理的虐待

P. 44 自尊 見捨てられ 対人関係 対人関係 見捨てられ不安

見捨てられる 自己破壊 見捨てられる 自己否定

P. 45 アイデンティティ 不全 献身 自尊感情 孤立 役割逆転

アタッチメント ホスピタリズム 交感 副交感

成長ホルモン 発達障害

P. 46 免疫 死亡 消化 吸収 死亡 施設二世

<6月10日でここまで>